

都市と地方における 外国人労働者の生活・仕事の満足度について

東海大学 教養学部
JP-MIRAIアドバイザー
万城目正雄

ご説明項目

外国人材（技能実習・特定技能）の仕事と生活の満足度

- 高い満足感につながる仕事と人間関係とは？
- どのような人が高い満足感を感じているのか？

**⇒ 地方における外国人材の定着を考える！
（外国人材の活躍、企業・地域の発展）**

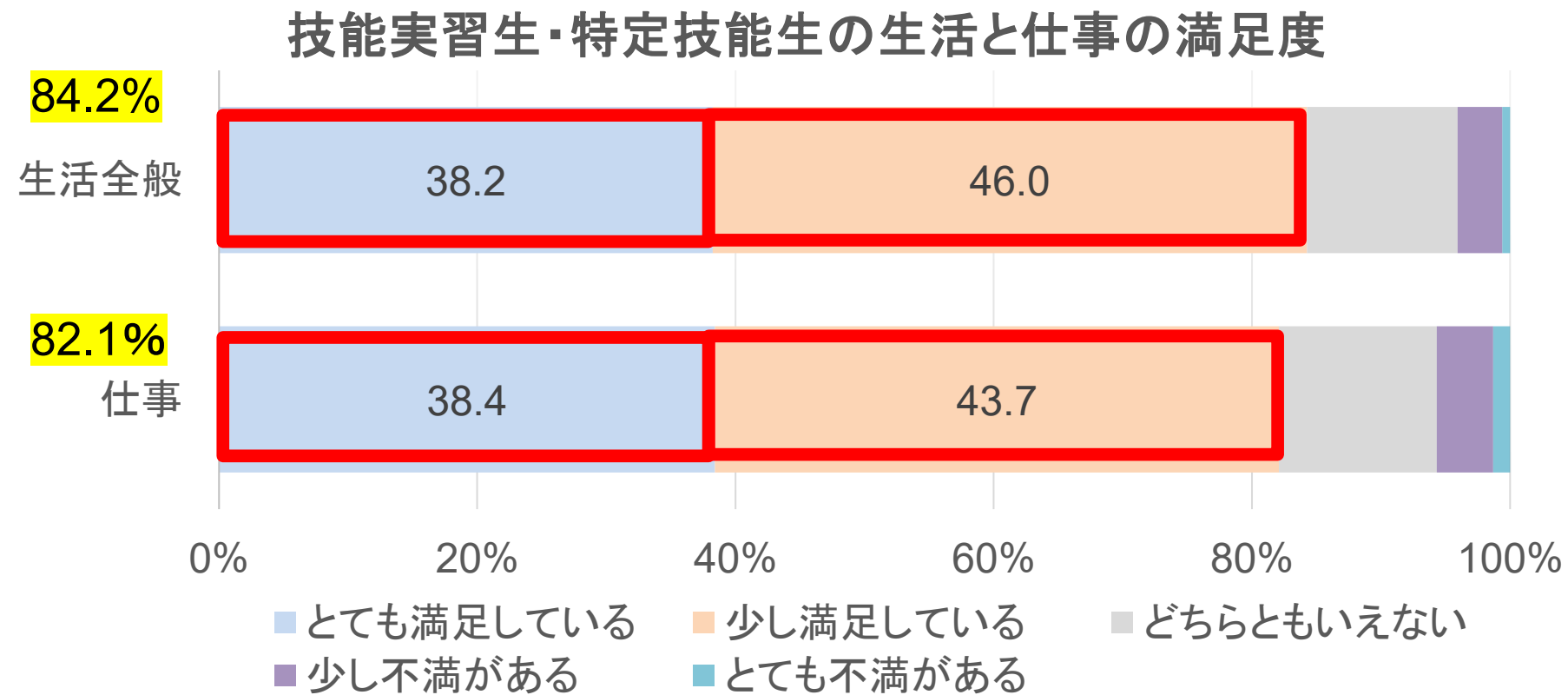
技能実習生・特定技能生の生活と仕事の満足度

技能実習生・特定技能生へのアンケート調査(2022年10月～2023年3月)

⇒技能実習生・特定技能生の生活と仕事の満足感が高い傾向

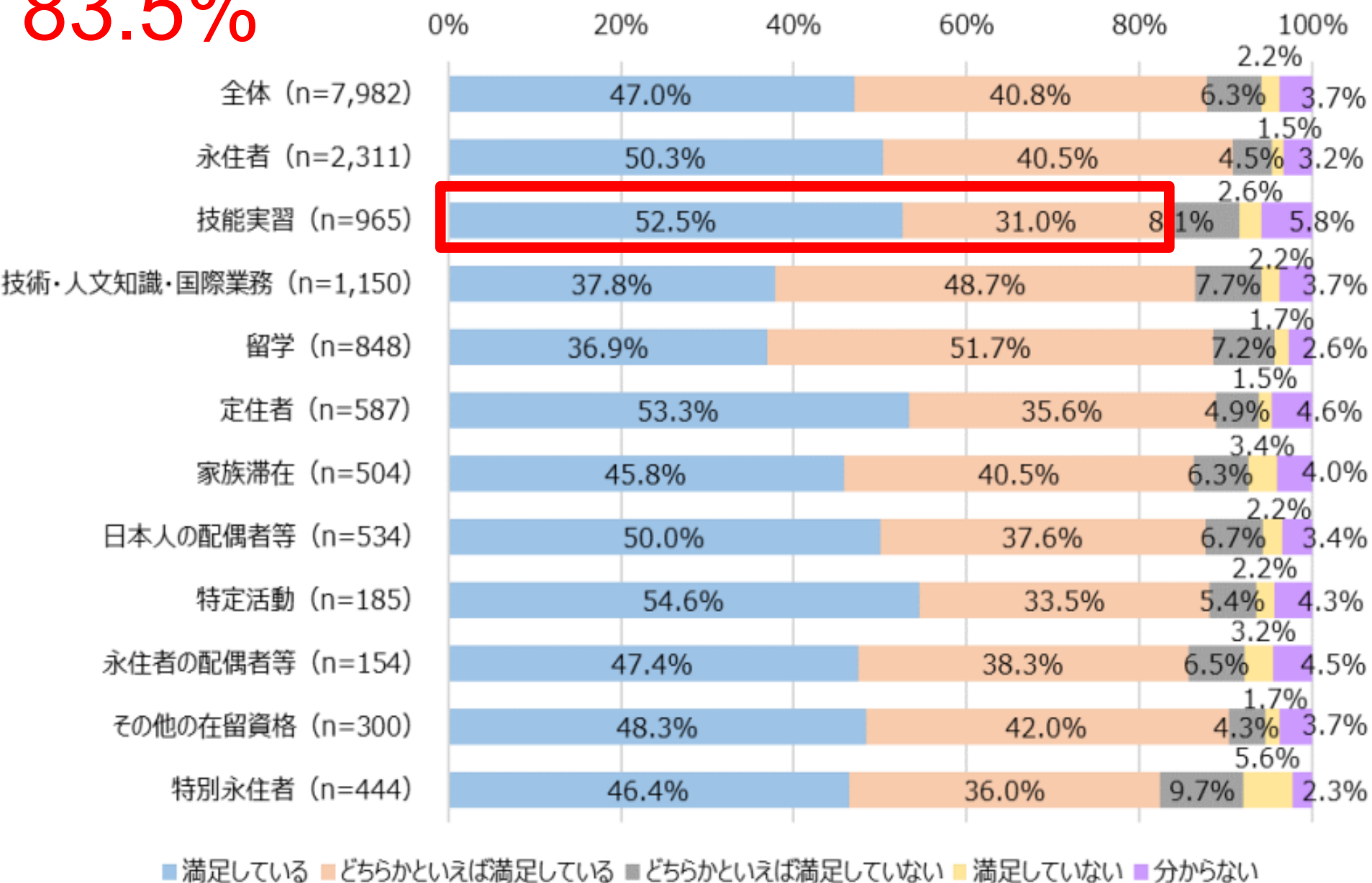
(参考)

- ・内閣府「国民生活に関する世論調査」(令和3年9月調査)が、全体として現在の生活にどの程度満足しているかを聞いたところ、「満足」とする者の割合は55.3%。
- ・厚生労働省「令和元年就業形態の多様化に関する総合実態調査」が、正社員の職業生活全体の満足度を調べたところ、「満足」又は「やや満足」とする者の割合は54.1%。



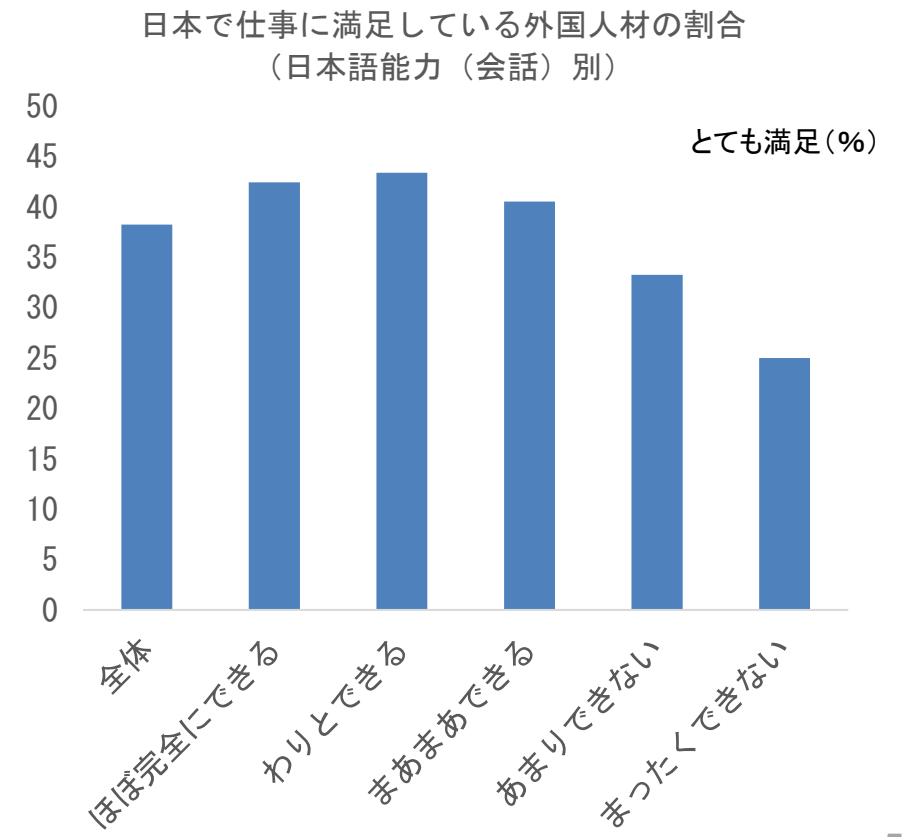
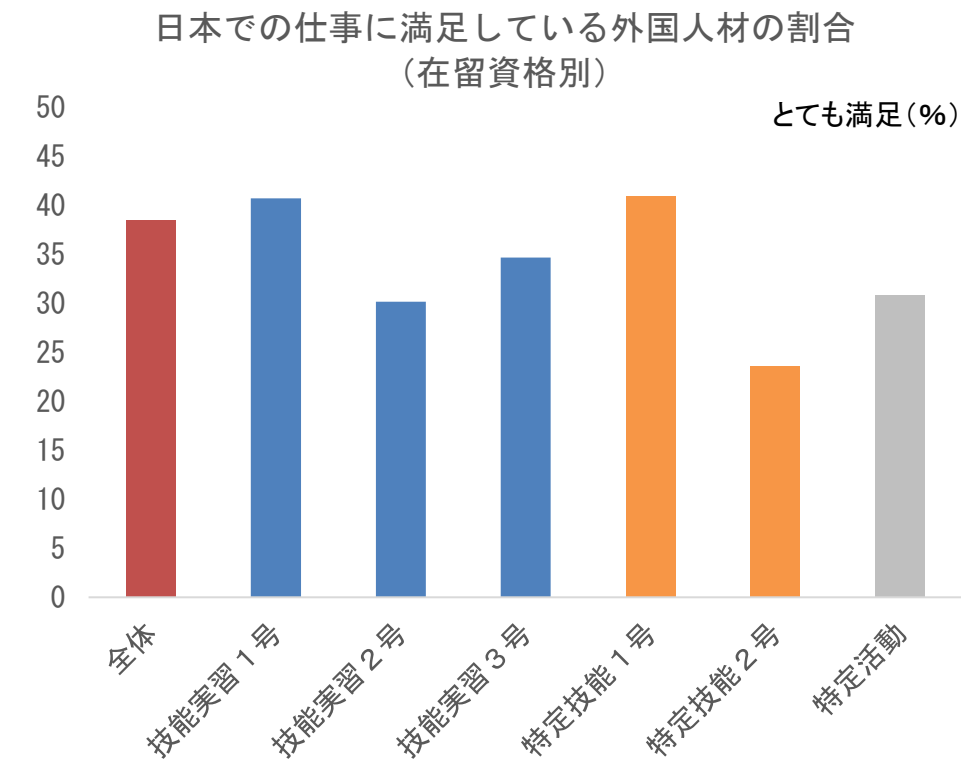
在留資格別 生活環境全般の満足度(単一回答)

83.5%



どのような人が満足感を感じているか？（在留資格・日本語）

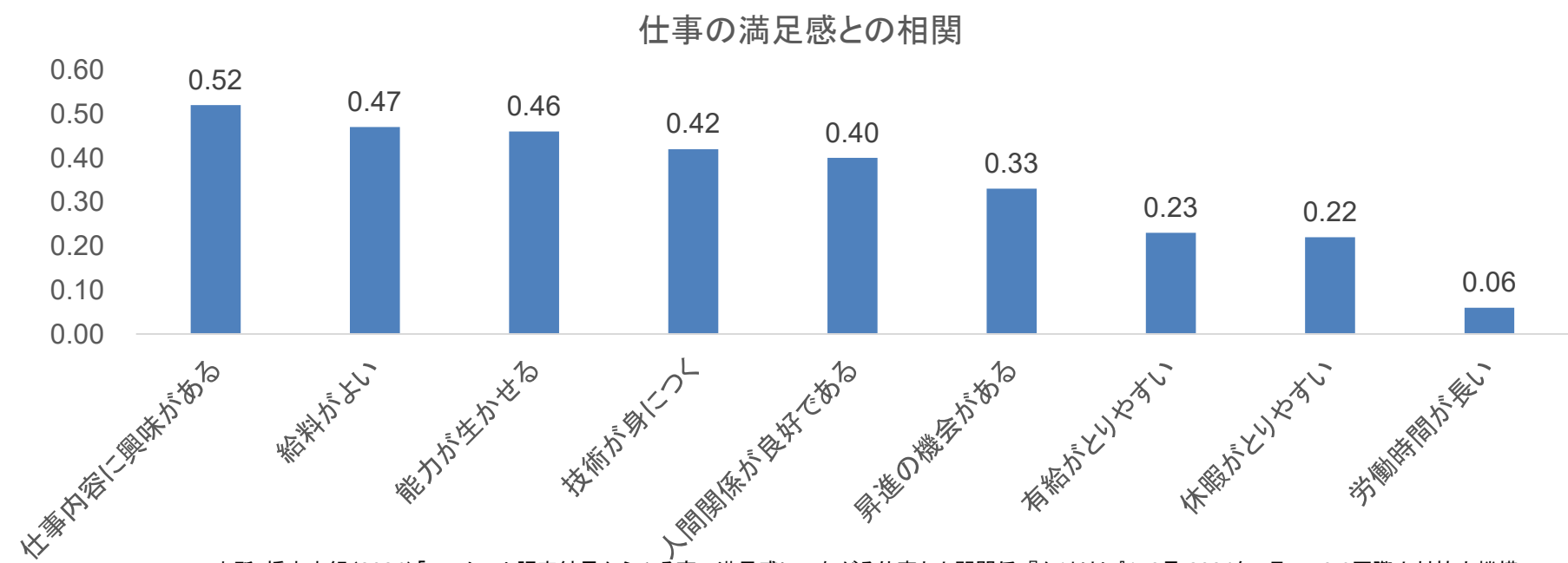
- ・仕事の満足感是在留資格別では特別な関係はみられない（技能実習1号、2号、3号、特定技能1号、2号へと資格変更し、日本で在留期間が長くなっても仕事の満足感が高まらない）。（生活の満足感についても同じ傾向）
- ・日本語能力が高いほど、仕事の満足感が高まる傾向。（生活の満足感についても同じ傾向）
- ・日本語学習・日本語教育を効果的に行うことは、仕事と生活の満足感を高めることに繋がり、人材の確保・定着を図るうえで効果的であることが示唆



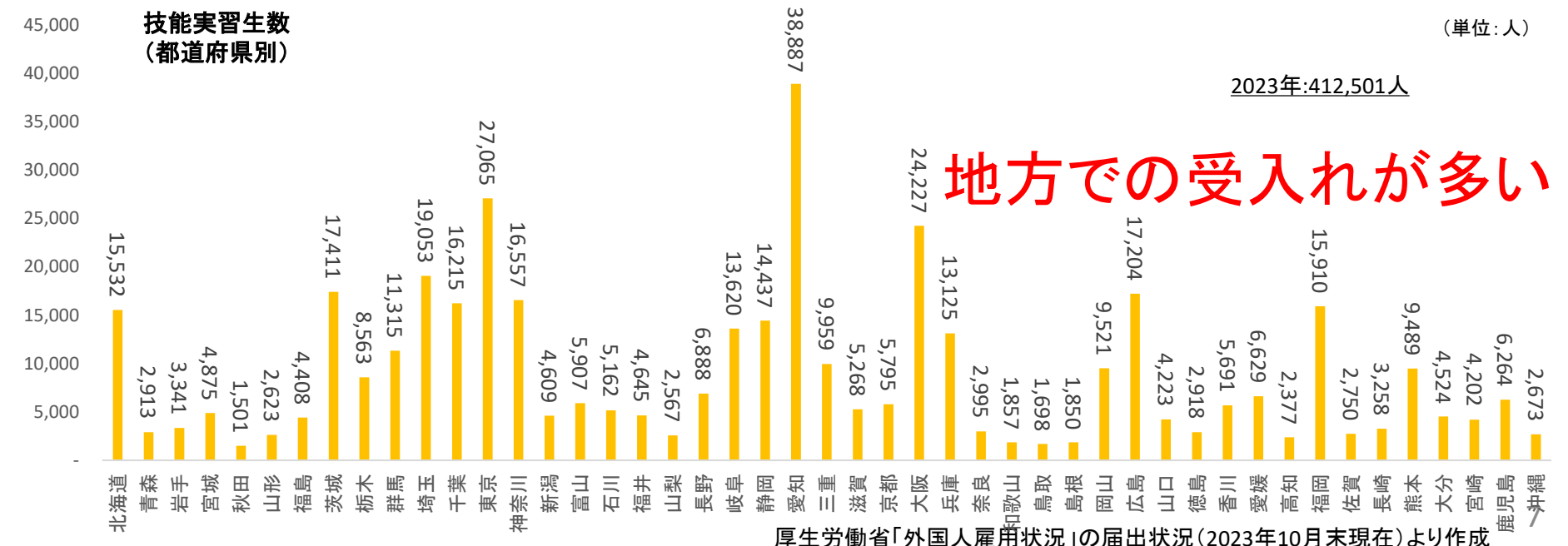
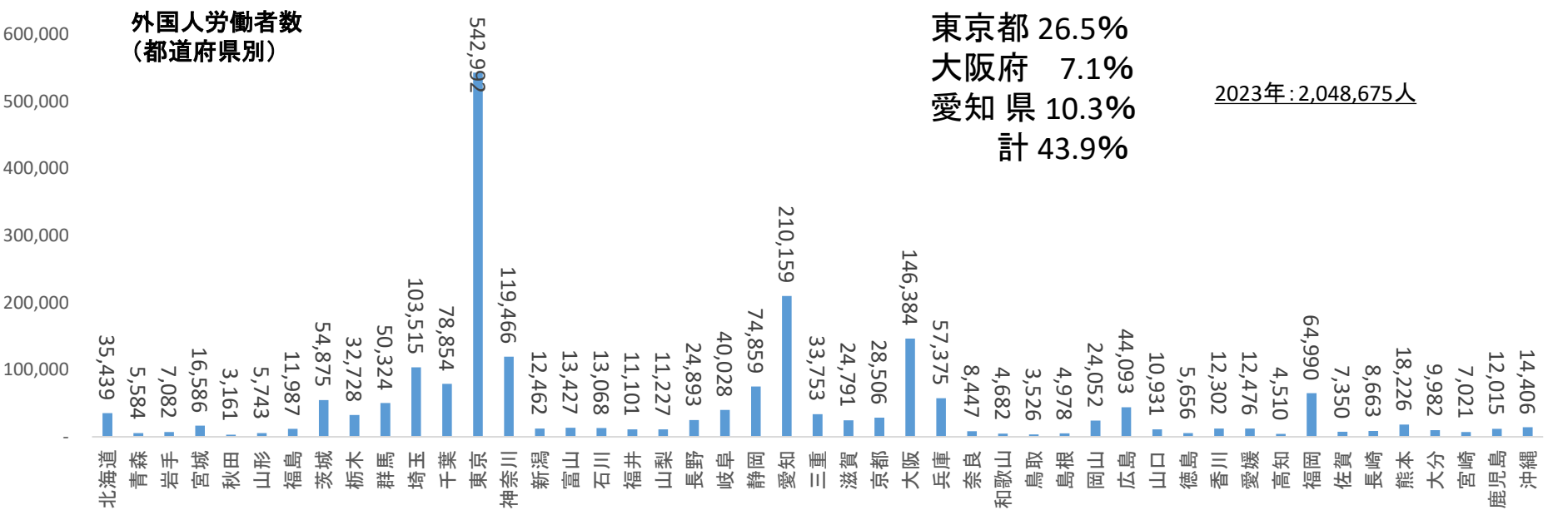
特定活動はコロナ禍で帰国困難となった技能実習生等に対する特例措置

高い満足感につながる仕事と人間関係ーキャリア形成の支援

- ・生活全般の満足度と仕事の満足感とは関連が深い
- ・実習生などの97%が明確な目的をもって来日
 - 多い順に「技能・技術を学ぶ」「母国の家族のためにお金を稼ぐ」「日本語を学ぶ」
 - ⇒家族への送金と同じかそれ以上に、主体的に技能や日本を学びたいと考えている。
- ・仕事の満足感と関係するのは、関係が強い順に「仕事内容に興味がある」、「給料がよい」、「能力が生かせる」、「技術が身につく」、「人間関係が良好である」・・・。
 - ⇒仕事の満足感が仕事の内容(おもしろさ)と強い関係
- ・「上司からの指導を効果的と感じている」、「自分の働きへの**正当な評価**を得ている」場合は仕事の満足感が高いが、**手取り賃金と仕事の満足感の関係は小さい**(相関係数0.05)
 - ⇒技能や意欲を高められるような指導と**正当な人事評価**が必要なことが示唆される



地方における人材確保・定着



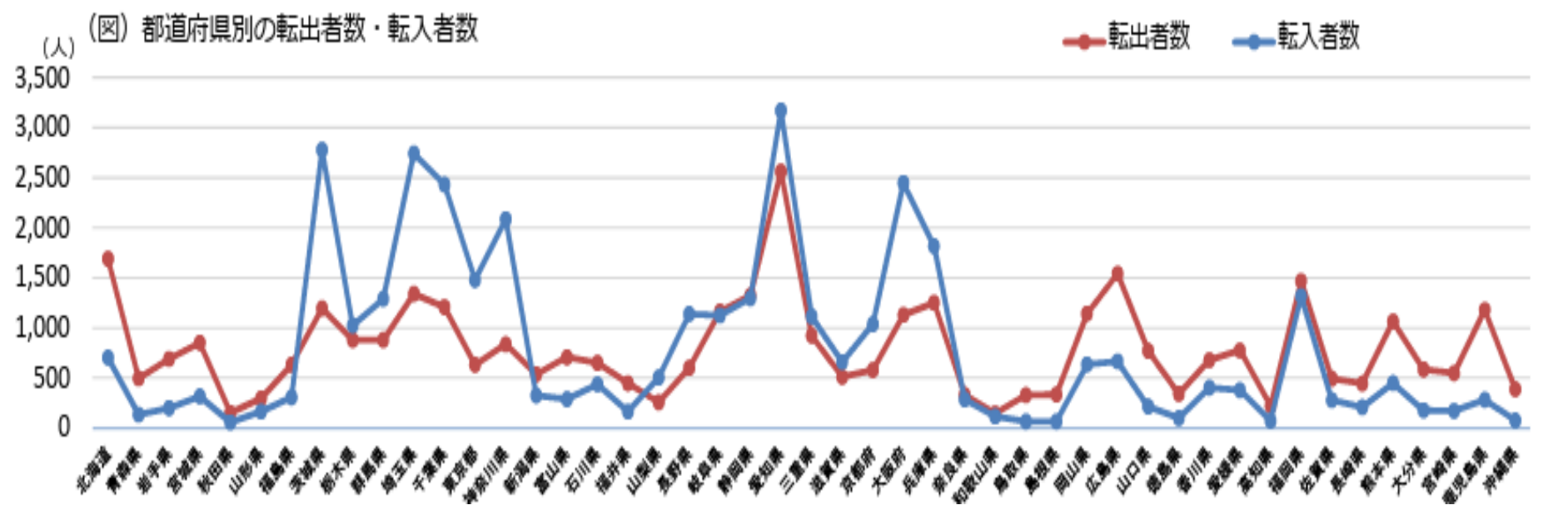
技能実習から特定技能へ移行時の地域間異動状況

- 特定技能1号外国人130,915人(令和4年12月末現在)のうち、技能実習からの移行者(注1)は95,302人。
- そのうち、**特定技能1号への移行に際し、都道府県をまたぐ住居地の異動**(注2)があったのは、**39.0%**(37,173人)

(注1)技能実習修了後、「特定活動」等の在留資格で在留した上で特定技能1号へ移行した者を含む。

(注2)技能実習での在留中の最後の在留諸申請に係る許可時点の住居地と、技能実習から特定技能1号への在留資格変更許可日から1か月以内の最後に届出された時点の住居地に異動があるもの

特定技能1号への移行の際の都道府県をまたぐ住居地の異動における転出・転入状況（暫定値）



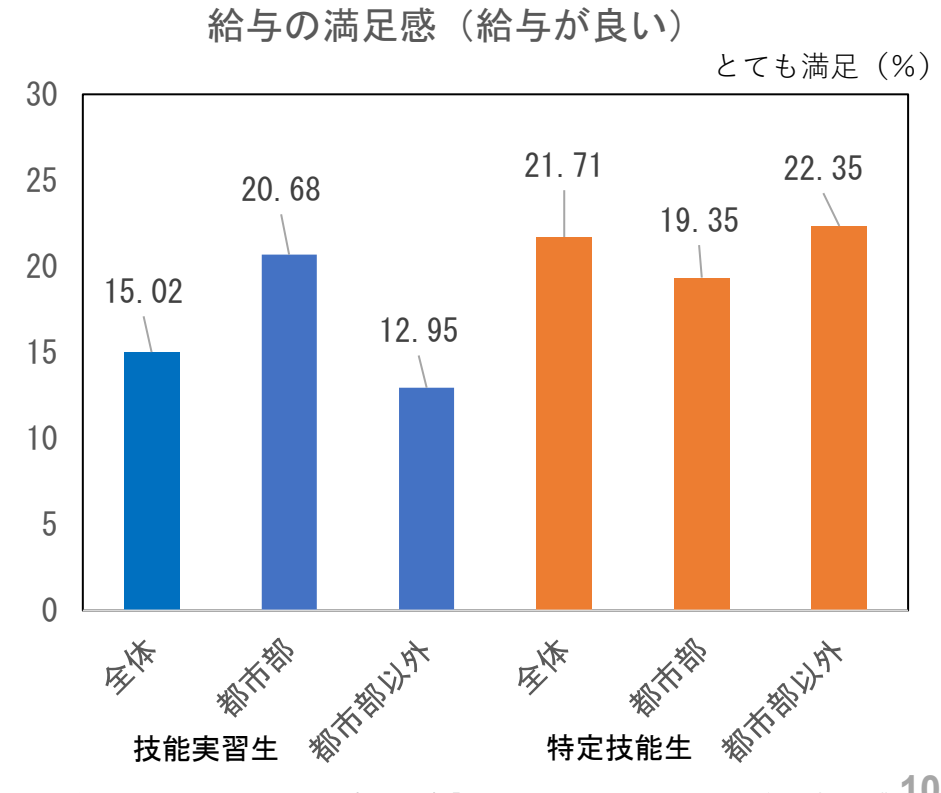
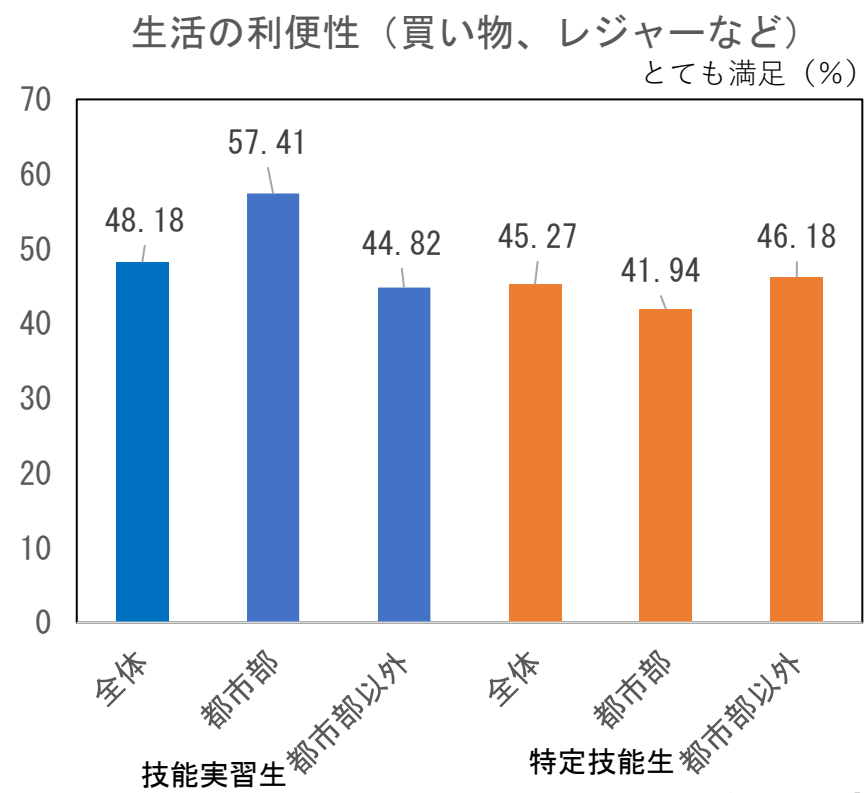
(表) 都道府県別の転出者数・転入者数 (赤字：転出者数、青字：転入者数)

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
1,689	494	689	852	153	295	631	1,193	879	879	1,339	1,207	632	837	536	707
702	132	198	317	56	165	307	2,779	1,024	1,290	2,740	2,431	1,479	2,086	325	287
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
651	445	258	599	1,163	1,323	2,562	921	511	580	1,128	1,249	331	145	327	333
435	165	504	1,138	1,123	1,296	3,171	1,114	659	1,038	2,448	1,815	286	114	65	66
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
1,141	1,541	772	340	678	775	219	1,468	493	444	1,065	584	548	1,180	387	
633	664	214	100	403	378	70	1,315	280	206	449	177	171	283	75	

※ 出入国在留管理庁において業務上集計したもの

生活支援（生活の利便性・給与の満足感、地域との共生）

- ・最低賃金1,000円（調査時点）以上の8都府県（東京、神奈川、大阪、埼玉、愛知、千葉、京都、兵庫）を都市部と定義、勤務先所在地と生活の利便性、給与の関係性を分析
- ・特定技能生の生活の利便性、給与の満足感は都市部の方が低いという関係性
- ・都市部での生活費が高いために給与の満足感が高まらない可能性、監理団体・実習実施者による生活支援（買い物、レクリエーション、食事会・・・）が行われている地方での技能実習の方が生活の利便性が高かったと感じている可能性が考えられるのではないか・・・。
- ・地方での外国人材の確保・定着の図るためには、生活支援・地域との共生が効果的である可能性が示唆。



OECD報告書 技能実習制度に一定の評価

OECD(経済協力開発機構) Recruiting Immigrant Workers Japan 2024

- 技能実習制度の見直しは現在の制度の下で、労働者に提供されている**支援を維持すべき**である

(翻訳は仮訳)

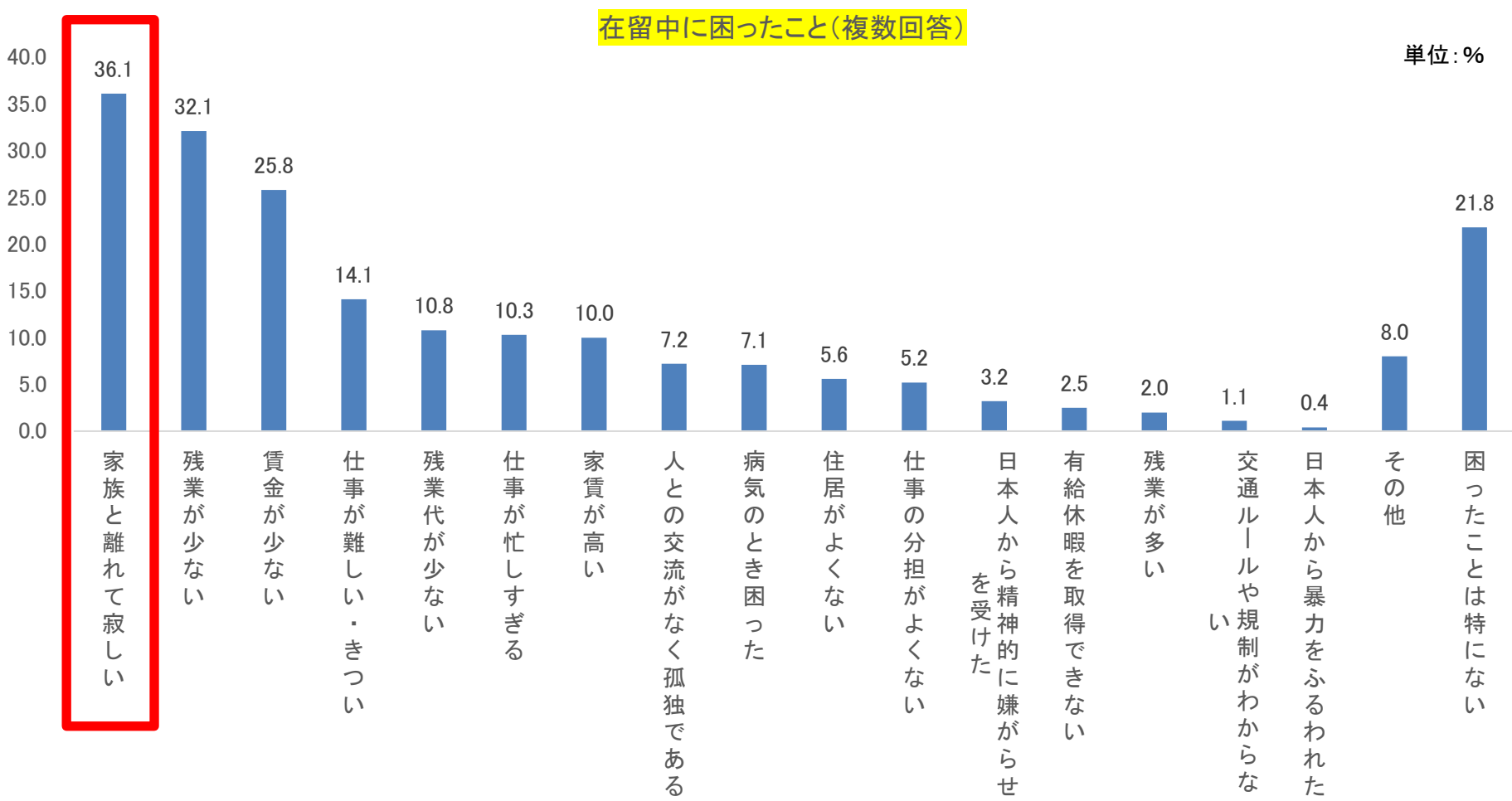


OECDホームページ

https://www.oecd-ilibrary.org/social-issues-migration-health/recruiting-immigrant-workers-japan-2024_0e5a10e3-en

高い満足感につながる仕事と人間関係

- ・実習生・特定技能生が在留中に困っていることは、「家族と離れて寂しい」が最も多い回答であった。
- ・回答者の約70%が毎日1時間前後、母国の家族と通話
- ・回答者の約48%が、日ごろ頼りにしている日本人がいない



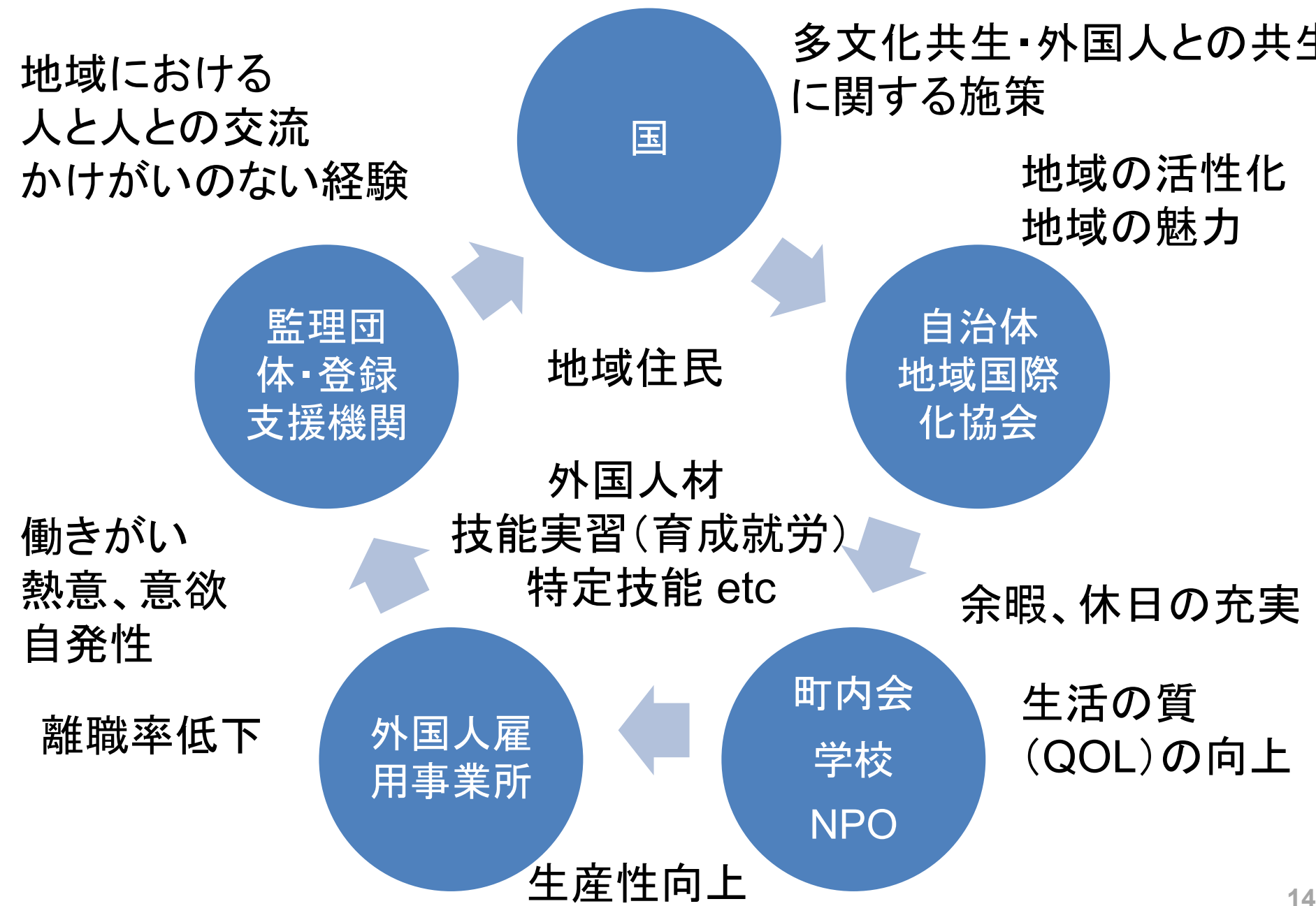
地方における外国人材の定着を考える！

(外国人材の活躍、企業・地域の発展)

3つのキーワード

- コミュニケーション(日本語教育・学習)
- 人事管理(人事評価・処遇、昇進・昇給(キャリアパス)、教育・指導・育成など)
- 日本での生活への支援(生活者としての外国人材)

地方における外国人材の定着を考える！



ご清聴いただき、有難うございました。

技能実習生・特定技能生へのアンケート調査は、公益財団法人トヨタ財団2021年度特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」(研究代表者:武蔵大学経済学部教授 神林龍)の助成により実施した「科学的根拠に基づいた外国人材政策立案のための共創プラットフォーム」の成果の一部です。本調査研究にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。